

基礎・基本を身につけ自ら学び続ける児童を育成

1 ねらい

- 自ら学び考える力を児童に育成するため、児童が基礎・基本を確実に身につけ、算数の学習に意欲をもって取り組み、達成感や成就感を得られるようにする。

2 取組概要

(1) 学習意欲を向上させる。

- ア 課題を解決するために必要な既習事項についての児童の実態を正しく把握する。
- イ 目標を達成できるように課題を明確にし、授業の流れが分かる板書計画の作成。

板書計画

台形の面積の求め方を考えよう

長方形の面積=たて×横
 正方形の面積=一辺×一辺
 平行四辺形の面積=底辺×高さ
 三角形の面積=底辺×高さ÷2

台形の面積は、長方形や平行四辺形、三角形の形になおして求めることができる。

2つの三角形のに分ける
 $8 \times 4 \div 2 + 2 \times 4 \div 2 = 20$
 答え 20 cm²

平行四辺形と三角形に分ける
 $2 \times 4 + 6 \times 4 \div 2 = 20$
 答え 20 cm²

2倍して平行四辺形に変形
 $(8 + 2) \times 4 \div 2 = 20$
 答え 20 cm²

- ウ 個に応じた指導や学習形態を工夫する。
- エ 算数的な活動を取り入れたり、自分の考えを表現する時間を確保する。
- オ 練り上げ段階では、それぞれの考えのよさを認めたとえで、きちんと位置づけしてまとめる。
- カ 教科書の扱い方(見せ方)、発表の仕方やノートのとらせ方を工夫し、自己表現を豊かにする。

(2) 学習規律の確立

「学習のしかた」と「算数学習の進め方」カードを作成し、一人一人に持たせることにより、自分の考えを発表する時に、自信を持って発表できるようにする。

学習のしかた

1. わたしのやり方をせつ明します。
2. わたしは〇〇を使って考えました
3. 自分のやり方をせつ明する。
4. 質問はありますか。
5. つけ足しや気づいたことはありますか。
6. これでわたしのせつ明を終わりにします。

算数の学習の進め方

つかむ	分かっていること きいていること
計画を立てる	答えはどれくらいか どんな方法でやるか
やってみる	< 絵・図・表・線分図・数直線・式 >
考え合う	よいところ・似ているところ よいやり方は
まとめる	まとめと練習

3 成果 等

- 板書計画の立案は、十分な教材研究と、指導過程と指導内容の明確化につながった。
- 児童は、ノートやプリントに自分のやり方や考えをかくことに慣れ、基礎・基本の定着に役立っている。